

# 教育課程等の概要 (看護学研究科 看護マネジメント専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目	健康マネジメント概論	1前	2			○		
	健康と環境	1後		1		○		
	健康と人権の政治経済学	1前		2		○		
	ヘルスケア倫理学	1前	1			○		
	研究方法論	1前	1			○		
	保健統計	1前		1		○		
	看護理論特論	1前		1		○		
	社会保障論	1後	1			○		
	経営管理特論	1後	1			○		
	コンサルテーション論	1後		1		○		
	健康寿命特論	1後		1		○		
	日本の社会と健康観	2前		1		○		
	地域医療とICT	2前		1		○		
	感染症特論	2前		2		○		
小計(14科目)	—		6	11			—	
専門科目	看護管理特論	1前		2		○		
	看護倫理特論	1前		1		○		
	看護政策特論	1後		1		○		
	看護倫理演習	1後		2			○	
	看護管理演習	2前		2			○	
	環境産業保健学特論	1前		2		○		
	精神保健特論I	1前		1		○		
	保健行動学特論	1後		1		○		
	精神保健特論II	1後		1		○		
	保健行動学特論演習	2前		2			○	
	精神保健特論演習	2前		1			○	
	小計(11科目)	—			16			—
研究 科目	課題研究	1通～2通	10				○	
	小計(1科目)	—	10					—
合計(26科目)		—						—

学位又は称号学位

学位又は学科の分野

修士(看護学)

保健衛生学関係

## 卒業要件及び履修方法

- 次の各号にわたって必修科目を含め 30 単位以上を履修し、修得しなければならない。
  - 基礎科目においては、必修科目 6 単位を含め、10 単位以上を修得すること。
  - 専門科目においては、10 単位以上を修得すること。
  - 研究科目においては、10 単位を修得すること。
  - 「看護管理特論」の 1 科目 2 単位または「精神保健特論 I」と「保健行動学特論」の 2 科目計 2 単位のどちらかを選択必修とする。
- 本研究科に 2 年以上在学し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。